

2019秋  
札幌

朗読劇 家族草子 2019秋 札幌 「後出しジャンケン」「イキヌクキセキ」の公演メンバーです。

(都合により演者が変更になる場合があります)

CAST



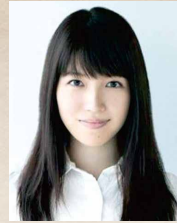
松井みどり



土橋建太



佐藤貴也



藤村聖子



入澤建



高畠麻奈



吉本光里

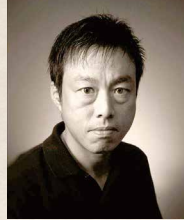
主宰・原作・脚本



森浩美

作詞家、小説家。田原俊彦「抱きしめてtonight」、森川由加里「SHOW ME」、SMAP「青いイナズマ」「Shake」「ダイナマイト」等、作品総数約700曲。また、家族を題材とした「家族の言い訳」「こちらの事情」「夏を拾いに」等のロングセラー小説多数。近著に「ひとごと」「家族連写」「終の日までの」

演出



保倉大朔

舞台芸術学院卒業後フリーで活動をスタート。2005年、自身のユニット「uncle jam」を旗揚げ。家族草子にはvol.0から参加、vol.6より専属演出家となり、観客の「想像力」と一緒に作品を作っていく『朗読』でもなく『演劇』でもない『家族草子』を毎回模索している。

音楽



真辺雄一郎

アコースティック・ギタリスト、作曲家。透明感、郷愁感に溢れたオリジナルソロギターアルバム「想」「詩」の2作品あり。また、他ミュージシャンのサポートをはじめ、芝居やミュージカル作品への楽曲提供、朗読劇などのコラボなど、活躍の場を広げている。

家族  
草子

朗読劇「家族草子」は森浩美の家族小説を、朗読・芝居・音楽で表現する、新しいスタイルの舞台芸術です。ウィステリア公演は、2015年より開催しています。



2019年札幌「渡り廊下の向こう」

私が帰宅すると、娘がコンサートに行っていていいかと聞いてきた。ある男の子に誘われたことを知り、私の胸には中学時代の淡い思い出が蘇ってくるのだった…  
双葉文庫『小さな理由』所収



2019年札幌「桜散らず」

一月前、妻は脳梗塞で倒れ、意識が戻っていない。私は思いやりのなかった毎日を悔い、不甲斐ない自分と一緒にあった妻の不憫を思い続けるばかりだった…  
双葉文庫『小さな理由』所収

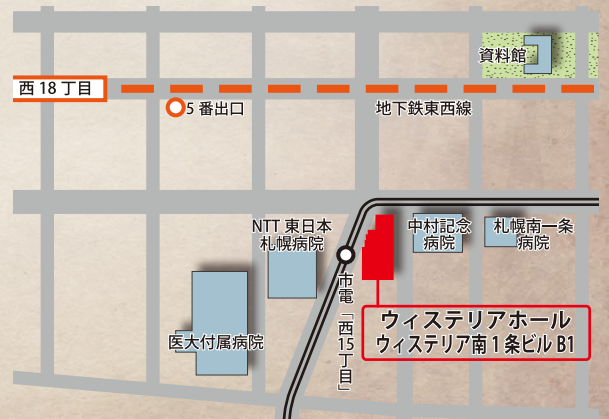
- 2015年 『聖夜のメール』『おかあちゃんの口紅』  
会場：渡辺淳一文学館ほか
- 2016年 『いちばん新しい思い出』『ホテルの熱』  
会場：ふきのとうホールほか
- 2018年 『ひかりのひみつ』『おかあちゃんの口紅』  
会場：ウィステリアホール
- 2019年春 『渡り廊下の向こう』『桜散らず』  
会場：ウィステリアホール
- 『笑えよな』『いちばん新しい思い出』  
会場：ウィステリア千里中央
- 2019年秋 『後出しジャンケン』『イキヌクキセキ』  
会場：ウィステリアホール

STVラジオ 札幌 1440KHz・FM90.4MHz 「家族草子～それぞれの物語～」毎週土曜放送中 午前7:15～7:30

お問い合わせ

ウィステリア南1条 札幌市中央区南1西14 ウィステリア南1条ビルB1

☎ 0120-358-065 [受付時間] 9:00～17:00



主催：サービス付き高齢者向け住宅ウィステリア南1条 共催：森浩美事務所 後援：札幌市・札幌市教育委員会 協賛：株式会社STVラジオ 協力：サバナ 三浦博志



サービス付き高齢者向け住宅

ウィステリア南1条